

森林官のインストラクター活動について

飯山・野 沢森林事務所○栗田 喜則

木島平森林事務所 望月 武

要旨

近年、飯山営林署管内においても、レクリエーションの森を活用した野外学習等が盛んに行われおり、森林官へのインストラクター要請も小・中学生の森林教室から中高年の生涯学習のための森林ガイド等へと業務の幅が広がってきている。

この事から、平成7年度における森林官のインストラクター活動の報告と問題点、新たなインストラクター業務の可能性を考えてみた。

はじめに

飯山営林署管内における観光レクリエーション資源としては、上信越高原国立公園内に山ノ内町の志賀高原、木島平村のカヤノ平高原、野沢温泉村の上ノ平高原、栄村の苗場山及び烏甲山等がある。このほか関田山系には、湖沼を中心とした景観資源とブナの巨木で有名な鍋倉山郷土の森がある。

1、平成7年度における森林官のインストラクター活動の概要

①平成7年6月5日「自然・文化・地元の触れ合い」横浜市立第三中学 31名

(飯山市信濃平観光協会の要請で鍋倉山郷土の森において森林教室及び案内)

残雪の残る中、かなりきついコースである巨木の谷までの往復を「なだめたり、励ましたり、叱ったり」して随行し「森太郎・コブ太郎」と呼ばれているブナの巨木の見学や森林の雑学・ブナの木についての説明をした後、聴診器でブナの木を診断した。(写-1)

※インストラクターからのアドバイス

山歩きに対しての事前学習が乏しく、装備不良(素手、底に溝のないラバーシューズなど)や各個人の体力差が目立ち、中には斜面を怖がって一步も歩けない生徒もいた。

次回からは、コースを分けるか時期を変えるなどし、最低限の装備(軍手・ゴム長等)をして来るよう指導したい。



随行員：業務課長・野沢森林官・木島平森林官

写-1 聴診器でブナの木を診断する中学生

②平成7年6月18日「鍋倉山の新緑のブナ林」森林倶楽部会員 135名

(長野営林局指導普及課主催・鍋倉山郷土の森周辺において主に中高年を主体とした森林ガイド)

8班に分かれ茶屋池の一周1.1キロを一時間程掛けて、植物観察・森林浴をし、昼食時には倉田信子氏のインディアンハーブと松本英明氏のギター演奏に耳傾け、午後は「巨木の谷」を目指す健脚コースの四班と「関田峠」周辺のゆっくり散策コースの四班に分かれて出発した。

健脚コースでは、「森太郎・貴婦人・コブ太郎」と呼ばれているブナの巨木の見学や森林の雑学・ブナの木についての説明、ブナの大木の胸高直径を当てるクイズ大会などを行った。

クイズの賞品は、ブナの葉をパウチで加工したオリジナルの葉を使った。

※インストラクターからのアドバイス

生涯学習を目的とした中高年の方々が、主体の森林倶楽部会員だけあってインストラクターへの質問も専門的で、例えば「ブナの漢字の意味・ブナの名前の由来等」むずかしい質問もあり、日頃の勉強の必要を感じた。

特に飯山営林署管内の主要樹種である「ブナ」については、一般的に広く知れ渡っており、関心も高いので、かなり深く掘り下げて勉強し覚える必要がある。

随行者：次長・業務課長・野沢森林官・木島平森林官

③平成7年7月20日「ふるさと学習」飯山市立第三中学

(鍋倉山郷土の森において行う予定でしたが、雨天中止)

④平成7年8月6日「蜂に対しての正しい知識と予防方法」野沢温泉村TV菜の花番組放送

(村内ほぼ全域を網羅するケーブルTVの30分の枠を戴き制作した)

・番組の内容

(1) 飯山営林署長挨拶 (1分40秒)

(2) 野沢森林官番組案内 (57秒)

(3) 「蜂」を知ろう・平成4年10月高知営林局安全衛生推進室制作のVTR (20分)

(4) 飯山営林署で使用している「防蜂網、防蜂手袋、ハチノック等」の説明及び「蜂の誘因補殺液」の作り方 (4分13秒)

(5) 次回の予告編 (1分30秒)

・この番組は、8月6日 18:30, 20:00, 22:00と8月7日 6:00, 7:30, 12:30の計6回放送された。

※インストラクターからのアドバイス

TV菜の花の方では、視聴率調査等は行っていないので、この番組の反響やPR効果についてはしっかりとしたデータで表す事はできなかったが、飯山営林署や野沢森林事務所に直接又は電話で来た意見や問合わせのあったものを件数の多い順にまとめた。(表-1)

件数だけを見ると合計29件と少ないですが、仕事で人に会ったりすると「この間、蜂のTV見たぞ」「また、山に関係したものをやってくれ」「勉強になった」など多数の人からいわれました。

また、村内の家の軒下等にペットボトルの誘因補殺液がぶら下がっているのを数件確認した。

この事から野沢温泉村在住の方はもとより、村内に宿泊している観光客も入れると、それなりの人数の方に視聴していただいたと推察される。

『TV菜の花』問合わせ内訳

問合わせ・意見一覧	件数(件)	備 考
ハチノックが欲しい	12	どこで売っているのですか?
誘因補殺液の作り方	10	もう一度と詳しく教えてください
防蜂網、防蜂手袋が欲しい	3	どこで売っているのですか?
蜂の巣を取ってください	2	(保健所に相談してください)
ダビングして欲しい	1	子供に見せたいから
ハチノックで蜂の巣を取るな	1	蜂は食物であるので殺虫剤で取られると困る(野沢温泉蜂の子を食べる会)
合 計	29	

表-1

番組制作野沢森林官、木島平森林官、アナウンス署長、野沢森林官

⑤平成7年8月29日「さわやか教室・森林浴」野沢温泉村在住の中高年 17名

(上ノ平高原の森林浴コースを使い森林浴教室及び森林ガイド)

・野沢温泉村保健センター主催で、健康をささえる3本柱「栄養・運動・休養」について、必要な知識と実践のための具体的な方法を考え、仲間とともに時には楽しく愉快地、時には真剣に講話や実技を取り入れながら学んで行くという、全6回コースで、その中の第4回目の森林浴「森林浴の効果」を担当した。

コースは、長坂ゴンドラ山麓駅から湯ノ峰荘まで(約1.5 km)を使い、森林浴歩行の基本である「話しながら歩いても苦しくない速度で早めに歩く」を念頭に置き、森林浴についての説明や植物観察、そして実際に森の精気(フィトン・チット)のでる仕組みをわかりやすい「タムシバ」を例に取り、樹皮にナタで傷を付け香りを楽しむ等のことをした。

※インストラクターからのアドバイス

ほとんどの方が、山には山菜取りに言ったことはあるが「森林浴」という目的で来たのは始めてと言う人が多かった。

質問の中で「植物の名前を覚える方法を教えてほしい」言うのがあったので、色で見分ける植物図鑑を使い自分で調べながら覚える方法とパウチ等を使い趣味の葉や標本などと抱き合わせて覚える方法を参考にさせていただいた。

随行員野沢森林官

⑥平成7年度内「ネイチャー・クラフト」イベント全般のPR

(ブナの葉をパウチで加工したオリジナルの葉)

・これは、飯山営林署のPR・森林インストラクターのPRとイベントなどに使用する手作りの小物として考案した葉書や葉である。(写-2)

この葉をクイズの賞品やイベント参加の記念品等に使用した結果、大変好評で毎回品切れの状態になり、配った方からは「作り方を教えてほしい」「売ってほしい」などと言われ、中には冗談で「うちの店に定期的に卸してくれないか」とまで言われた。

森・情報館

2、インストラクター業務の新たな可能性

・今回初の試みとして、野沢温泉村の「TV菜の花」と交渉し、飯山営林署としての時間枠を30分いただき、TV菜の花の全面協力得て第一回目の放送となった。

実際に番組を制作してみて、思った事は「人を集めずにイベントができる」地域が限定されるが、定期的に番組を放送した場合、野沢温泉村を訪れる観光客年間約137万人の事を考えると絶大なPR効果があると言えるだろう。

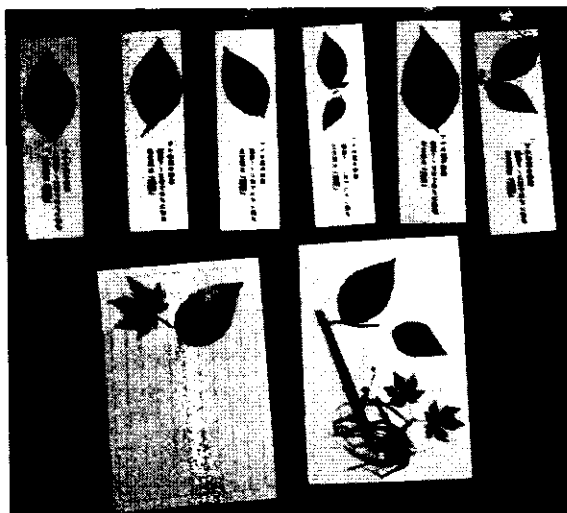
・そして、内容のほうも来期に向けて「昆虫採集について」「ネイチャー・クラフト」「飯山営林署管内の国有林紹介」等一般の方が興味を持ちそうな題材を主として「分収育林の募集や、遭難注意の呼掛け、山火事注意、森林の情報の提供等etc」等々許す限り2回、3回と続けてゆきたいと思う。

おわりに

飯山営林署管内におけるハード面の知名度については、何回かTV等で紹介され、それぞれ浸透しているが、ソフト面についてはよく知られていない、これからはソフト面のPRが必要である。

森林教室等は、前々から営林署において実行されており、それなりのノウハウがあるが、最近の森林ガイドの内容をみると、対象年齢も広範囲であり、したがって説明内容もこれ等に対応した説明をしなければならない。

今後、ソフト面のPRも積極的に行い合せて、営林署独自の地域に合ったノウハウをこれから歩きながら確立しつつ、森林官として新しい分野のインストラクター業務を遂行してゆきたい。



写-2 考案した色々な葉書や葉